

第2次推進計画版

# 食の安全安心・食育推進計画の 具体的取り組み内容

## 第4章 食育の推進

平成25年5月27日

<判定>

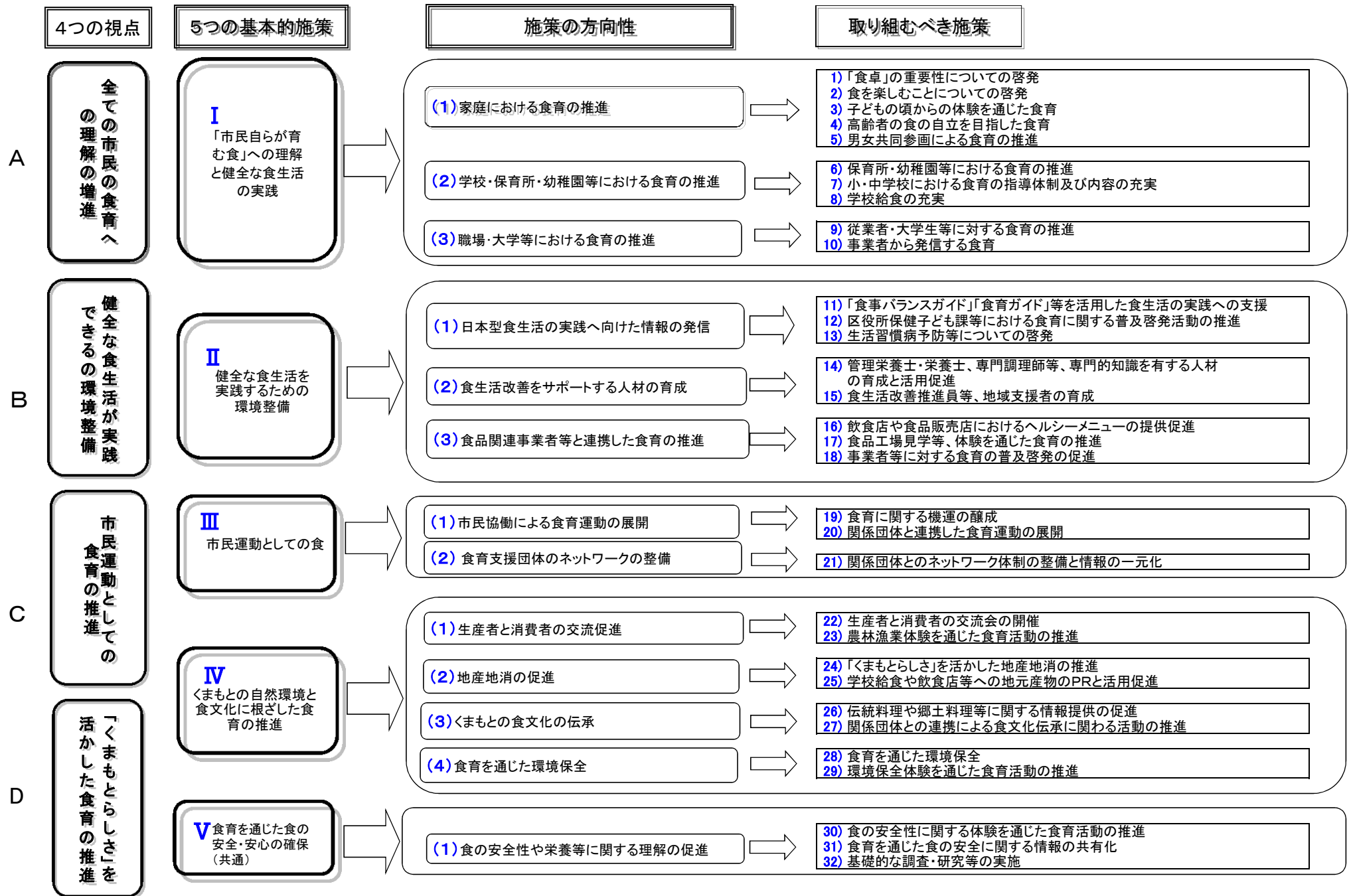
◎ 達成

○ 継続展開中で目標未達成

△ まだ取り組みをしていない

× 取り組み中止

# 第4章 「食育の推進」に関する施策の体系



## 第4章 食育の推進 《成果指標》

項目	現状値 (H24年度)	目標値 (H30年度)	
① 食育に関心がある市民の割合	73.4%	90%	
② 「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加」 *1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	10回	さらに増加	
③ 1週間あたりの朝食について *幼児は「毎日食べる割合」 *他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	95.3%	100%
	小学5年生	※ 0.9%	0%
	中学2年生	※ 2.0%	0%
	20代男性	29.4%	15%
	30代男性	29.4%	15%
	65歳以上	3.7%	0%
④ 体験型食育活動の取り組み(実施園数/全施設数)【保育園】	公立	※ 100%	100%
	私立	※ 90.4%	
⑤ 体験型食育活動の取り組み(実施園数/全施設数)【幼稚園】	公立	100%	100%
	私立	100%	
⑥ 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	※ 48.5%	60%	
⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)	※ 19件	30件	
⑧ 栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	69.0%	80%	
⑨ 内臓脂肪症候群の予防や改善のために適切な食事、定期的な運動、定期的な体重測定を継続的に実践している市民の割合	27.7%	50%	
⑩ 食育の推進に関するボランティア数	1,208人	1,600人	
⑪ 食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合	52.9%	65%	
⑫ 「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」 <sup>6</sup> における連携活動した団体等の割合 *保育園・幼稚園が他団体と連携して食育に取り組んだ割合	37.6%	60%	
⑬ 農林漁業体験を経験した市民の割合の増加	37.7%	50%	
⑭ 進んで地元農産物を購入する市民の割合	69.4%	80%	
⑮ 学校給食における地元農産物を使用する品目数	※ 39品目	45品目	
⑯ 家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	49.2%	70%	
⑰ ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけをしている市民の割合	69.9%	75%	
⑱ 熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.8%	85%	

※ 平成23年度数値

# I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

## 1) 家庭における食育の推進

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標
①	食育に関心がある市民の割合	73.4%				90%
②	「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加」 *1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	10回				さらに増加
③	1週間あたりの朝食について *幼児は「毎日食べる割合」 *他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	95.3%			100%
		小学5年生	※0.9%			0%
		中学2年生	※2.0%			0%
		20代男性	29.4%			15%
		30代男性	29.4%			15%
	65歳以上	3.7%			0%	

- 1) 「食卓」の重要性についての啓発
- 2) 食を楽しむことについての啓発
- 3) 子どもの頃からの体験を通じた食育
- 4) 高齢者の食の自立を目指した食育
- 5) 男女共同参画による食育の推進

※H23年度数値

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24度 実績	H25度 実績	H26度 実績	H27度 実績	H30 目標	備考
1	ひごっこすくすくマップ (携帯版)	子ども支援課	保護者を対象に食生活等の生活習慣の大切さを啓発するガイドブックを作成配布。	配布数	9000部				—	各相談連絡先を掲載し、「朝食を食べる」等の生活習慣の大切さを啓発する携帯型ガイドブックを作成配布。
2	年齢別連続育児講座 (0、1歳コース)	各区役所保健子ども課	年(月)齢毎の発達段階に沿った「食育の進め方」を栄養士により講話。	—	実施				継続実施	0歳児コース、1歳児コースそれぞれで実施。
3	乳幼児ママパパ教室	子ども支援課	保育所、幼稚園、地域の子育てグループ等の学習会へ講師を派遣し、保護者等に家庭や両親の在り方、子どもの心身の成長やしつけ等、家庭教育についての学習機会を提供。	学習会への参加者数	9,216人				—	保育所、幼稚園、地域の子育てグループ等の学習会へ講師を派遣し、保護者等に家庭や両親の在り方、子どもの心身の成長やしつけ等、家庭教育についての学習機会を提供する。
4	プレママ・パパ教室 (両親学級)	子ども支援課	妊婦を対象に保育体験を行い離乳食の試食を行う。	—	実施				継続実施	離乳食体験を行わず先輩パパママとの懇談会を行う。
5	介護予防事業	高齢介護福祉課 各区役所関係課	【一次予防事業】 ・地域の高齢者を対象とした、低栄養予防や食生活改善のための健康教育等の実施。 ・啓発パンフレットの作成、配布。 ・介護予防活動に資する教材作成	実施回数	2,249回				継続実施	・高齢者サロン等における健康相談や健康教育等の実施 ・介護予防普及啓発パンフレットの作成 ・ボランティア養成講座の実施
			【二次予防事業】 ・栄養状態や口腔機能の低下がみられる方を早期に発見し、状態悪化を予防するための指導や機能訓練等を実施。	参加人数	集計中				継続実施	・機能低下がみられる方(二次予防事業対象者)の適切な把握 ・把握した二次予防事業対象者に対し、介護予防プログラム(栄養改善事業・口腔機能向上事業)の実施。
6	精神障がい者サロン、 当事者勉強会	障がい保健福祉課 福祉課	精神障がい者サロン、当事者勉強会の調理実習、会食等の際、食について考える。	実施回数	集計中				—	
7	乳幼児経過観察健診	子ども支援課 各区役所保健子ども課	子どもの発育・発達状況に応じた指導を行う。	受診率	集計中				100%	子どもの発育・発達状況に応じた指導を行う。

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	H24度 実績	H25度 実績	H26度 実績	H27度 実績	H30 目標	備 考
8	妊婦・乳児健康診査	子ども支援課	委託医療機関において妊婦・乳児の健康診査を行い、必要に応じて栄養指導等を行う。	受診率	集計中				100%	委託医療機関において妊婦・乳児の健康診査を行い、必要に応じて栄養指導等を行う。
9	妊婦一般健康診査事後指導	子ども支援課 各区役所保健子ども課	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	フォロー率	集計中				100%	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。
10	3・7か月健康診査事後指導	子ども支援課 各区役所保健子ども課	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	フォロー率	集計中				100%	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。
11	1歳6か月児健康診査	子ども支援課 各区役所保健子ども課	幼児期の食生活について指導を行い、手作りおやつを試食を行う。	受診率	集計中				100%	幼児期の食生活について指導を行い、手作りおやつを試食を行う。
12	3歳児健康診査	子ども支援課 各区役所保健子ども課	幼児期の食生活について指導を実施	受診率	集計中				100%	幼児期の食生活について指導を実施する。
13	保育所・給食体験	子ども支援課 子育て支援センター	素材を大切に食材の選び方や楽しく食べる方法等を親子での保育体験を通して、同年齢の子どもの給食見学や試食により学習してもらう。	—	実施				継続実施	保育園と連携、毎月 離乳食体験、幼児食体験実施する。
14 ★	小児生活習慣病予防検診	健康教育課	小児期の肥満に早期に対応し、小児生活習慣病に関する意識の高揚を図るため、小学4年生の肥満度20%以上の児童に対して、検診と保護者への指導を実施している。	肥満度20%以上の児童の割合	小学生 6.8 中学生 8.1				小学生 7.0 中学生 7.5	肥満度20%以上の児童に対して、検診と保護者への指導を実施している。

★ 準じる指標

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体名	備 考
保健事業における健康づくり支援	熊本県総合保健センター	特定保健指導(積極的支援及び動機付け支援)及び健康相談を継続実施する。また、健康づくりセミナーを実施する。
健康教室	熊本県栄養士会 熊本市地域事業部	
乳幼児と保護者対象「むし歯予防講座」	熊本県歯科衛生士会	「虫歯予防」に関する講話と「仕上げみがき」実践を指導する

「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

2) 学校・保育所等における食育の推進 ～経験から学ぶ食の大切さ～

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項 目		H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標
④	体験型食育活動の取り組み（実施園数/全施設数）【保育園】	公立	※100%				100%
		私立	※90.4%				
⑤	体験型食育活動の取り組み（実施園数/全施設数）【幼稚園】	公立	100%				100%
		私立	100%				
⑥	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		※48.5%				60%

※H23年度数値

6) 保育所・幼稚園等における食育の推進
7) 小・中学校における食育の指導体制及び内容の充実
8) 学校給食の充実

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	H24度 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備 考
17	保育所での体験型食育	保育幼稚園課	園庭などで稲や野菜の栽培・収穫、日常の献立における調理実習や食生活改善推進員とのクッキング等を実施。	—	実施				継続実施	園庭などで稲や野菜の栽培・収穫など
18	保育所給食における給食実物等の展示	保育幼稚園課	家庭に日々の給食内容を知らせるとともに、食べ物について、園児と保護者との会話を促す。	実施率	調査中					研修会で給食実物展示による食育の目標や効果について説明
19	「食育だより」の発行	保育幼稚園課	献立表と一緒に毎月「食育だより」を発信。	食育だよりを発行する園	調査中				100%	献立表と一緒に毎月「食育だより」を発信
20	保護者の保育参観	保育幼稚園課	保育所で提供している給食の試食と保育所給食の説明。	—	実施				継続実施	保育参観(保育参加)時に給食の説明と試食会を行う
21	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集(給食時間)の作成	健康教育課	市産品を使用した献立を実施し、児童・生徒に指導するための資料集(給食時間)を作成し、全校に配付している。	—	実施				継続実施	指導資料集を配布
22	「給食だより」や「食育だより」の発行	健康教育課	「給食だより」や「食育だより」を発行し、児童、保護者への食に関する啓発を行う。	たよりを発行する学校数	100%				100%	農業体験活動(野菜づくり、米栽培・収穫など)や加工食品(みそ)などの体験活動を各学校で実施
23	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	健康教育課	生活改善パンフレットを保護者に配布することにより、基本的な生活習慣について啓発している。	作成配布	実施				継続実施	夏季休業中に献立の検討研修会を実施

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24度実績	H25実績	H26実績	H27実績	H30目標	備考
24	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	健康教育課	肥満傾向にある子どもに対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行うことにより、小児生活習慣病の減少をめざしている。	作成配布	実施				継続実施	老人会、民生児童委員、学校評議員などを対象に各学校でふれあい給食会を実施
25	わくわく楽しい学校給食作品展	健康教育課	給食に関する児童生徒の作品を展示。	作品展の実施	実施				継続実施	作文、絵画、習字、給食献立の各部門において表彰・作品展示を行う

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体名	備考
わんぱく祭り	熊本市保育園連盟	継続して実施する。
熊本市立小学校歯磨き巡回指導事業	熊本県歯科衛生士会	講話と歯みがき実践を各小学校で指導する。



# I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

## 3) 職場・大学等における食育の推進

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項 目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標	
⑦	企業、大学等での食育に関する講座の開催（件数）	※ 19件				30件	9) 従業者・大学生等に対する食育の推進 10) 事業者から発信する食育

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備 考
26	ふれあい出前講座	生涯学習推進課	市及び関係行政機関等の職員が講師として地域や学校に出向き、業務の説明や専門知識を活かした講話や実習等を行う。	ふれあい出前講座「食育講座」開催数	30回				40回	市及び関係行政機関等の職員が講師として地域や学校に出向き、業務の説明や専門知識を活かした講話や実習等を行う。
27	中食を中心とした食生活改善マニュアルの活用	健康づくり推進課	食の乱れが著しい高校生・青年期をターゲットとし、中食の上手な利用方法・組み合わせ等を提案する	マニュアル活用	実施				継続実施	すでに作成したマニュアルを活用し、啓発に努める。
28	食育実践講座の開催	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	食の乱れが著しい若い世代に対し大学等と連携し啓発。メタボリックシンドロームが増加する働き盛り世代に職域等と連携し啓発。やせ願望等による欠食・偏食等の女性、その他生活習慣病の予防を目的とし、食事バランスガイドやエクササイズガイドを用いて実践力アップを目指す。	開催件数	19件				30件	(H24参加者数) 大学生 1,238人 従業者 301人 女性 142人

## II 健全な食生活を実践するための環境整備

### 1) 日本型食生活の実践へ向けた情報の発信

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項 目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標
⑧	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	69.0%				80%
⑨	内臓脂肪症候群の予防や改善のために適切な食事、定期的な運動、定期的な体重測定を継続的に実践している市民の割合	27.7%				50%

11) 「食事バランスガイド」「食事ガイド」等を活用した食生活の実践への支援

12) 区役所保健子ども課等における食育に関する普及啓発活動の推進

13) 生活習慣病予防等についての啓発

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備 考
1	すこやか食生活改善講習会	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る調理実習や食事バランスガイドの啓発を行う	すこやか食生活改善講習会参加者数(延べ)	39,027人				39,500人	
2	育児教室	子ども支援課 各区役所保健子ども課	4～5か月児(第1子)の発育・健康増進のための情報を提供	参加者数	集計中				継続実施	
3	両親学級	子ども支援課 各区役所保健子ども課	妊婦とその夫などに妊娠期・授乳期の望ましい生活習慣等の指導を行う。	参加者数	集計中				継続実施	
4	妊産婦健康相談	子ども支援課 各区役所保健子ども課	妊産婦の食生活について指導を行う。	参加者数	集計中				継続実施	
5	育児相談	子ども支援課 各区役所保健子ども課	乳幼児の食生活について指導を行う。	参加者数	集計中				継続実施	
6	ピカピカカミカミ教室	子ども支援課 各区役所保健子ども課	1歳6か月児健康診査後のフォロー教室(幼児期におけるむし歯予防のための食習慣の講話・おやつを試食、ブラッシング指導)	参加者数	607人				継続実施	
7	公立障がい児デイサービス事業	保育幼稚園課	公立保育所における障害児デイサービスを利用する障害児とその保護者を対象とした栄養相談・指導	参加者数	3,728人				増加	

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
8	40～64歳の健康教育	各区役所保健子ども課	40～64歳の市民に対し、生活習慣病予防のためや健康づくりに関する知識の普及・啓発を行う。	参加人数	10293人				13,000人	
9	40～64歳の健康相談	各区役所保健子ども課	40～64歳の市民に対し、個人個人の生活習慣や食習慣に応じて、生活習慣病予防や健康づくりに関しての助言・相談を行う。	参加人数	4053人				10,136人	
10	栄養成分表示実施店舗の紹介	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課 食品保健課	栄養成分表示店舗の紹介・広報	店舗数	11店				25店	
11	CKD対策事業	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	適切な食生活を実践することで、CKD予防を図り、新規人工透析者の減少を目指す。	新規人工透析者数	266人				-	

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備考
食事バランスガイド地域普及講習会	熊本市食生活改善推進員協議会	食事バランスガイドについて、地域住民に対して啓発を行う。
よい食生活をすすめるためのグループ講習会	熊本市食生活改善推進員協議会	配布テキストの中から、数種の献立を選び、調理実習による普及講習会を地域住民に実施(牛乳・乳製品の摂取を高めるための食生活改善講習会)

II 健全な食生活を実践するための環境整備

2) 食生活改善をサポートする人材の育成

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標	14)管理栄養士、栄養士、専門調理師等、 専門的知識を有する人材の育成と活用促進  15)食生活改善推進員等、地域支援者の育成
⑩	食育の推進に関するボランティア数	1,208人				1,600人	

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
12	栄養士・管理栄養士 養成施設実習生受け 入れ	各区役所保健子ど も課	管理栄養士等養成施設からの依頼により、実習生が公衆栄養の実践活動の場における課題発見・解決を通して管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援。	受入数	40人(全 体)				継続実施	
13	栄養士・管理栄養士 養成施設臨地実習お よび校外実習生受け 入れ	健康教育課	管理栄養士等養成施設からの依頼により、実習生が学校給食における課題発見・解決を通して管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援。	受入数	94人				継続実施	
14	栄養教諭養成施設教 育実習生受け入れ	指導課 健康教育課	栄養教諭養成施設からの依頼により、栄養教諭として児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を習得することを支援。	受入数	5人				—	
15	栄養士及び調理師 対象の衛生教育	食品保健課	研修会を開催し、厚生労働省の指導方針や最新の栄養情報、健康づくりや衛生管理等に関する情報を伝達。	受講者数	729人				700人	毎年度、 調理師研修会 1回 栄養管理研修会 2回 合同研修会 1回 を実施予定
16	食品情報の迅速で正 確な収集と発信 (食品安全情報ネットワーク)	食品保健課	市民及び食品関連事業者に対して、市ホームページ・市報及び各種メディアなどの広報媒体を通じて正確な情報を発信。	情報提供回数	33回				24回 以上	継続実施
17	地域歯科保健研修会 等の開催	健康づくり推進課	口の健康に対する市民意識の向上を図ることを目的に、口の健康づくりに必要な情報を提供する。	口の健康に満 足している市 民の割合	31.0%				40%	
18	食育担当者等研修会、 栄養教諭・学校栄養 職員研修会の実施	健康教育課	食育担当者等を対象として食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催。また栄養教諭・学校栄養職員を対象として授業力向上等の研修会を行う。	開催回数	実施 食育担当 者研修会 (202人) 栄養教 諭・学校 栄養職員 研修会 (70人)				継続実施	

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備 考
調理師全体研修会及び保育士、調理師合同研修会	熊本市保育園連盟	食育を多方面から見直すことで保育園給食を営むことの大切さを学ぶ

## II 健全な食生活を実践するための環境整備

### 3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進

#### 【成果指標】

No.	項 目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標
⑥	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	69.0%				80%

#### 【取り組むべき施策】

- 16) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進
- 17) 食品工場見学等、体験を通じた食育情報の提供
- 18) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進

#### 【具体的な取り組み(行政)】

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備 考
19	健康くまもと21推進事業 (健康づくりできます店)	健康づくり推進課 食品保健課	地産地消、栄養成分表示など健康づくりに積極的に取り組む飲食店等の認知と市民への周知を図る。	登録店舗数	110店				150店舗	
20	食品関連事業者向け研修会の開催	健康づくり推進課	食育を推進するための民間団体(主に食品関連事業者)向けの研修会	参加者数	40人				増加	
21	食品関連事業者等への支援	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	食事バランスガイド等を使った啓発を行う食品関連事業者を増やすための支援	実施施設数	11店				増加	

### Ⅲ 市民運動としての食育の推進

#### 1) 市民協働によるくまもと食育市民運動の展開

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25度	H26度	H27度	H30 目標
①	食育に関心がある市民の割合 【再掲】	73.4%				90%
⑩	食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合	52.9%				65%

19) 食育推進に関する機運の醸成
20) 関係団体と連携した食育運動の展開

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
1	健康くまもと21推進事業 (食ネット部会)	健康づくり推進課	食の学習や農業体験を通じて食への知識や理解を深め、食の情報を提供することで食の大切さを市民や社会に働きかける。	開催回数	4回					継続実施
2	8020推進員活動支援事業	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	8020推進員による地域ボランティア活動を支援する。	地域活動件数	407件					増加
3	食生活改善推進員全体研修会	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	講話やグループワーク等で食生活改善のボランティア活動時に活用する知識を習得。	参加者数	565人					継続実施
4	食生活改善推進員各区研修会	各区役所保健子ども課	食生活改善推進員を対象として、新人研修、スキルアップ研修、すこやか食生活講習会のための調理実習等ボランティア活動に関するより具体的技術と知識を習得するための研修会の開催	参加者数	3,032人					増加
5	食生活改善推進員地区組織活動の支援	健康づくり推進課	役員会、リーダー会の開催並びに地域で行う食生活改善活動(食文化伝承活動含む)に関する助言指導を行う。	支援数	63,438人					65,000人
6	熊本市民健康フェスティバル	健康づくり推進課	健康づくりを目的とするイベントにおいて、食生活改善推進コーナーを設け、食育に関する情報提供や啓発活動を行う。	来場者数	17,479人					20,000人

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備 考
7	くまもと食農応援団活動への支援	農商工連携推進課 各区役所農業振興課	収穫体験ツアー等の「くまもと食農塾」への参加をととして更なる農業理解を図る。	活動支援	実施				継続実施	NPO法人化した食農応援団と協力し、更なる農業理解を図る。
8	食育に関する消費者セミナーの実施	商工振興課 (消費者センター)	市民対象にした食育に関する啓発を行う。 夏休み親子食育セミナー	セミナー参加者数	58人				継続実施	田崎市場にて、夏休みに1回開催。 小学校高学年と保護者を対象に開催。「食品の流通などについて」の体験型講座。
9	農産物フェア(秋のふれあい収穫祭等)開催事業への支援	農商工連携推進課 各区役所農業振興課	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出。(熊本市の農畜産物紹介、旬の野菜・果物の試食及び料理紹介、花を用いた装飾及び品種の紹介、野菜・果実・水産物・花束・鉢物等の販売)	開催事業への支援	実施				継続実施	イベントの場所や期間を検討し、より良いフェアの開催を行う。
10	食と健康フェア	健康づくり推進課	食育に関する市民啓発を行い、市民運動として食育を推進する。	開催回数	1回/年				1回/年	



### Ⅲ 市民運動としての食育の推進

#### 1) 市民協働によるくまもと食育市民運動の展開 ～みんなで進めよう「くまもとの食育」

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備考
熊本市民健康フェスティバル等各種イベントへの参加	熊本市食生活改善推進員協議会	熊本市が行う各種イベントへ参加し、市民啓発を行う。 食と健康フェア2013、熊本市民健康フェスティバル、ふれあい収穫祭、田崎市場感謝祭、熊本城マラソン等参加
すこやか食生活改善講習会		熊本市委託事業。生活習慣病予防を目的とした献立の普及伝達を行う調理実習(または試食)。あわせて、食事バランスガイドの普及を行う。(市内93校区で1回ずつ実施)
おやこの食育教室事業		主に、幼児期・小学生の親子を対象に、親子クッキングを行いながら、栄養のバランスのよい食べ方などの啓発を行う。(担当支部を決めて実施)
男性のための料理教室		男性も自らの健康に気を配り、元気に暮らしていくことができるよう、自立支援と生活習慣病予防を目的に実施する。 30歳以上の男性・高齢者対象(担当支部を決めて実施)
子育てサークル等での食育		地域の子育てサークルなどで、食育活動・子育て支援を行う。(市民からの依頼により実施)
地域における子育て中の保護者支援		お隣さん・ご近所さんの食生活改善支援として、身近なところで離乳食等の相談に応じる。(市民からの依頼により実施)
保育所での親子料理教室等		保育園・幼稚園等からの依頼により、調理実習やエプロンシアター等の実施による啓発活動を行う。(市民からの依頼により実施)
小中学校・高校での食育活動		小学校・中学校・高校からの依頼により、伝統料理、調理実習、読み聞かせ等の実施による啓発活動を行う。(小・中学校からの依頼により実施)
よい食生活をすすめるためのグループ講習会		配布テキストの中から、数種の献立を選び、調理実習による普及講習会を実施 (牛乳・乳製品の摂取を高めるための食生活改善講習会を担当支部を決めて実施)
エコレシピチャレンジ講座開催(平成25年単年度事業)		熊本市が作成したエコレシピ集に掲載している献立の普及とごみ減量等の環境保全について市民啓発を行う。(各区5回計25回実施:単年度事業)
歯たちの健診	熊本市歯科医師会	熊本市内の大学の学園祭等にて、無料歯科健診をし、その中で食育に関する指導も行う。
歯の祭典(ウェルパルくまもと)		歯の祭典(イベント)を継続して実施。歯科相談と併せて食育についても啓発を行う。
熊本市子ども文化会館での無料歯科相談		名称は「歯っぴーキッズ」子どもの健康についての啓蒙活動の一環。 無料歯科健診で、その中で食育に関する指導も行う。(例:断乳の時期、間食、ジュース、ファストフード、噛む回数等)
熊本市民健康フェスティバル		歯科相談・健診、口臭測定、ブラッシング指導、フッ化物洗口を実施する。
歯磨き巡回指導		歯科相談、ブラッシング指導等の巡回指導を実施する。
高齢者対象「お口の健康講座」		高齢者が一生おいしく、楽しく、安全な食生活を営むために、お口の機能向上及び口腔ケアの実践を指導する。

名称	関係団体	備考
歯の祭典	熊本県歯科衛生士会	位相差顕微鏡(口腔内細菌の観察)や唾液PHテストを体験して、日常生活における食生活様式や口腔衛生に対する意識を高める。
健康フェスティバル		歯科衛生士会コーナー、お口の介護予防コーナー等を設置し日常生活における食生活様式や口腔衛生に対する意識を高める。
健軍医商連携事業 「健康フェア」	熊本県栄養士会 熊本市地域事業部	栄養食事相談コーナーを設置する。(パンフレット等の資料配布・食生活診断)
市民啓発事業(協働)		はあもにいフェスタの開催
熊本市民健康フェスティバル		栄養食事相談コーナーを設置する。(食品のディスプレイやパンフレット等の資料配布・食生活診断)
ねんりんピック		
熊本市子どもの食育推進ネットワーク事業		親子料理教室を開催する。(トライアングルグループ・熊本うまか隊)
食育推進「母子福祉支援活動」 ～楽しいクリスマス料理～		
市民公開講座		
熊本市子どもの食育推進ネットワーク	熊本市民生委員児童委員協議会	協議会として、熊本市子どもの食育推進ネットワークに登録、参加し、代表者・実務者会議、年2回の研修会などに積極的に参加。会長会議で子どもの食育について研修を行う。
「今なぜ食育なの？」	熊本市PTA協議会	
食育の推進	熊本市私立幼稚園協会	

### Ⅲ 市民運動としての食育の推進

#### 2) 食育支援団体のネットワークの整備

【取り組むべき施策】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標	
⑫	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合 * 保育園・幼稚園が他団体と連携して食育に取り組んだ割合	37.6%				60%	21) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
11	食の安全安心・食育推進会議	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課	熊本市食の安全安心・食育推進計画の進行状況の検証・評価を行う	開催回数	6回(作業部会含む)				2回/年	
12	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	食育に携わる関係団体(保育所・幼稚園・地域保健福祉課ボランティア等)からなるネットワークで、地域における食育活動を展開する。	ネットワーク加入団体(者)数	314団体				増加	
13	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会		食育の推進を目的としたネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催。(年2回)	研修会参加者数	466人				増加	
14	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会		地域の食育担当者が連携を強化し食育推進活動を活発化させるため、地域のより身近な所で食育を展開するための情報交換と資質向上を支援	研修会参加者数	592人				増加	
15	食に関するホームページへの情報掲載	食品保健課 健康づくり推進課	食に関する役立つ情報を提供	アクセス数	100,116人				増加	
16	食育に関する全市の広報	健康づくり推進課	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	実施回数	7回				増加	

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備考
CKD対策	熊本県栄養士会	CKD及び関連疾病に対応した研修会を開催するなどして啓発活動行う。

IV くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

1) 生産者と消費者の交流

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標
13	農林漁業体験を経験した市民の割合の増加	37.7%				50%

22) 生産者と消費者の交流会の開催
23) 農林漁業体験等を通じた食育活動の推進

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
1	生産者との給食交流会	健康教育課	給食物資の生産者と児童・生徒の交流と食を実施。交流給食を通して生産者とふれあい食育の推進を図る。	交流会の実施	実施				継続実施	
2	食農体験事業	各区役所 農業振興課 農商工連携推進課	各区の特性を活かした収穫や調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る。	農業体験参加者数	53名				増加	
3	すこやか交流広場管理運営事業	健康福祉政策課	子ども農園の貸付と、多目的広場の管理、運営。植え付け祭、収穫祭等、イベントを開催し世代間交流を促進。樹木の管理、農園の自主管理を推進する。	農園利用率	82%				100%	子どもふれあい農園や多目的広場の貸付、管理運営を行うことで、農業体験を通じた自然とのふれあいや世代間交流を図る。
4	学校農園等での栽培活動	指導課	学校農園や休耕田、プランター等を活用し、子どもたちが栽培・収穫等を体験する。	実施率	調査中				100%	
5	市民と水産業との交流促進	水産振興センター	市民と漁業者との交流を通じて、本市水産業の紹介、漁業体験活動などを推進する	参加者数	小学生等参加者数 61名				増加	
6	ファミリー農園	各区役所 農業振興課 農商工連携推進課	昭和58年の開設以来、平成23年4月現在13農園(881区画)が開園している。今後は農園開園者自らが管理運営する農園への移行を完了し、市としては、開園支援を実施していく。	利用区画数	885区画 (14農園)				1,500区画 (25農園)	新年度当初から新規開設の相談があり順調である。しかし一番要望の多い中央区の農園が1箇所と少ないため、今後も開園支援を実施していく。

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備考
「食と農・くらしと環境ワーキンググループ」における活動	エコパートナーくまもと (環境パートナーシップくまもと市民会議)	行政及び関係団体と協力し、環境保全及び安全安心な食について啓発活動を行う。
あぐりキッズスクール	JA熊本市	前年同様に農業や食の大切さを伝えるため、取り組んでいくもの。

IV くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

2) 地産地消の促進

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標
⑭	進んで地元農産物を購入する市民の割合	69.4%				80%

24) 「くまもとらしさ」を生かした地産地消の推進

25) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
7	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	農商工連携推進課	熊本に因むストーリーが展開できる野菜等を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る。	啓発活動の実施	実施				継続実施	ひご野菜普及については、行政主導から民間レベルの活動に広がりを見せているため、民間が行う取り組みを支援していくと共に、各種イベントでのPRやレシピ集の作成等により認知度の向上を図る。(指定品目:15品目)
8	保育所給食における地産地消の推進	保育幼稚園課	食材は可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産を使用している。	地産地消の推進	実施				継続実施	食材は可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産を使用
9	学校栄養職員等の生産地視察	健康教育課	給食関係者が学校給食使用農産物の生産地を視察し食育に活用する。	生産地視察	実施				継続実施	
10	「農とびあ」地域の活動支援	農業政策課 各区役所 農業振興課	一定の地域を「農とびあ」として指定し、その地域における農業者等の主体的活動を支援し、地産地消の拠点づくりを推進する。	「農とびあ」指定地域数	6地域				6地域	
11	学校給食における地元産物の利用	健康教育課	「食育の日」の取り組みとして市産品の献立によるメニューを実施し、児童・生徒に指導するための資料集を作成し、全校に配付している。 ※毎月19日を「ひごまるデー」とし、市産品の献立によるメニューを実施	実施品目数	44品目				45品目	
12	農産品直売所支援	農商工連携推進課	市内直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培への取り組みや合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る。	直売所設置箇所数	16				増加	熊本市農産物直販所連絡協議会ひごまる会を中心として、熊本市産農産物合同販売会を実施するとともに、各種イベントに出展し、農産物の販売会を行う。

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備考
小・中学校及び福祉施設等 へ熊本市産ノリを提供	熊本市漁業後継者クラブ	市内の小・中学校に熊本市産の焼海苔を提供し、本市産海苔のPRを行う計画である。

#### IV くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

##### 3) くまとの食文化の伝承

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標
16	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	49.2%				70%

26) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の促進
27) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の推進

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
13	郷土料理の実施とそれに伴う啓発活動	健康教育課	食文化の伝承及び啓発を目的に、学校給食献立への郷土料理導入を月1回実施	実施割合	100% 100%				小学校 100% 中学校 100%	
14	保育園児と地域住民との交流会	保育幼稚園課	地域の住民との交流会にて、団子汁会や芋煮会を行う等、郷土食の継承に努めている。	実施割合	調査中				公立 100% 私立 70%	
15	郷土料理等を掲載した給食レシピ集の発行	健康教育課	郷土料理も含めた学校給食のレシピ集を作成し、学校へ配布し、親子料理教室等での活用や家庭啓発を行う。	作成配布	実施				継続実施	
16	郷土料理啓発活動	健康づくり推進課	熊本の郷土料理・祭事料理を食のホームページに掲載・発信する。	ホームページの掲載	実施				-	20品掲載中

#### IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

##### 4) 食育を通じた環境保全

【成果指標】

【取り組むべき施策】

No.	項目	H24 基準値	H25	H26	H27	H30 目標	
⑪	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけをしている市民の割合	69.9%				75%	28) 食を通じた環境保全に関する情報提供の促進 29) 環境保全体験を通じた食育活動の推進
⑩	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.8%				85%	

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H30 目標	備考
17	環境にやさしい店の推進	環境政策課 (温暖化対策室)	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」として認定し広報していく。	認定店舗数	149店舗				増加	環境にやさしい店「よかエコショップ」認定店舗数を増やすとともに、市民への広報・啓発を行いグリーンコンシューマーの育成を図る。
18	水質監視	水保全課	地下水等に関する水質監視	監視率	100%				100%	
19	広域水保全対策	水保全課	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動などを通じて地下水かん養域と地域との交流や連携を深めることで熊本地域の地下水の長期的な保全を保つ。	参加人数	357人				450人	
20	小学校への副読本配布	ごみ減量推進課	小学4年生が社会科で初めてごみ問題を学習する際の副読本として、本市のごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、市内の小中学校に配布している。	配布人数	8,100人				8,500人	小学4年生が社会科で初めてごみ問題を学習する際の副読本として、本市のごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、市内の小中学校に配布する。
21	生ごみ減量対策	ごみ減量推進課	「生ごみにしない」、「出しまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおいて、生ごみ減量対策に取り組む。	新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数	1,927人				2,500人	ダンボールコンポスト講座開催、生ごみ処理機の購入費助成、イベント時の啓発等を行う。
22	ごみ減量化・リサイクル推進ポスターコンクール	ごみ減量推進課	小中学生を対象に、ごみ減量・リサイクルの推進を題材にしたポスターコンクールを行い、その優秀作品を表彰している。	応募点数	1,161点				1,200点	市内の小中学生を対象に、ごみ減量・リサイクル推進の必要性についての関心を高めてもらうため、ごみの減量やリサイクルに関するポスターコンクールを実施する。
23	環境保全に関する市民啓発	環境総合センター	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う。	参加者数	7,857人				増加	
24	環境にやさしい農業の推進	農商工連携推進課	エコファーマ、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数	1,891経営体				2,090経営体	エコファーマ認定・更新の推進 有作くんの認証促進

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備考
「食と農・くらしと環境ワーキンググループ」における活動	エコパートナーくまもと (環境パートナーシップくまもと市民会議)	行政及び関係団体と協力し、環境保全及び安全安心な食について啓発活動を行う。



V 食育を通じた食の安全・安心の確保(共通)

1)食の安全性や栄養等に関する理解の促進 ～安心して食生活を送るための食育～

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	備考
食の安全安心確保に関する研修会	熊本市農産物直販所連絡協議会	協議会の総会において、関係団体による、農産物への農薬の適正使用等の説明を受け、会員の意識向上を図る。(総会予定 平成25年7月)